

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
こどもかがやきセンターかんのん (児童発達支援)		令和7年 3月 3日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		・個別支援室も増え、適切な受け入れや支援ができています。 ・利用人数により、施設内の空間を活用し、臨機応変に対応できていると思う。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		・お子さんの状況に応じて、1対1の個別療育もしていることで、柔軟な対応ができていると感じる。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		・施設はバリアフリーとなっている。 ・訓練室は不必要な物を置かずに、安全かつ構造化に配慮している。	・まだ不十分な箇所もあるため、確認しながら必要に応じた環境を整えていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		・換気もこまめにしている他、空気清浄機も設置し、清潔を保っていると思う。 ・業者委託でクリーニングもしている。 ・職員が朝夕の清掃と消毒をしている。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		・クールダウンのスペースを確保し、必要に応じて使っている。	・いつでも使用できるような、スヌーズレンスペースの設置も検討していきます。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		・常勤非常勤の勤務の違いもあり、職員全員で共有できる時間が限られている。たくさんさんの時間があればいいと思う。	・毎日の申し送りやスタッフ会議にて、職員で情報共有し振り返りに努めているが、今後はケース検討会を増やすようにしていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			・評価表とは別に、年に一回保護者にむけてアンケートをお願いし、意見を頂いている。今後は業務改善やスキル向上に努めていきたい。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		・年に一度、第三者委員より講評をいただいている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		・視察研修や勉強会を実施している。施設内の研修にも積極的に参加し、職員全体の資質向上に努めている。 ・法人内研修は年1～2回開催している。	・これからも職員の積極的な研修の参加をしていきます。外部研修の他にも、支援の合間にオンラインで受講できるような機会を設けていきます。
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>			・職員全体で、お子さんの姿を把握し適切な関わりができるように、アセスメントを丁寧に行い確認していきます。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>			

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・週のプログラム担当を決めながら、職員全体で内容を検討している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・年間スケジュールを作成し、プログラムが偏らないように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・ご家族とお子さんの状況を確認しながら、個別支援と集団訓練の利用を調整し支援計画を作成し、支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・毎朝のミーティングにて、当日のお子さんの支援についてやプログラム内容、職員の動きを確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・職員間でその日の支援を振り返り、担当者がケース記録にまとめている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・観察と記録を丁寧に行い、それをもとにチームで話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期モニタリングの他にも、保護者とのコミュニケーションを大事にし、計画の見直しが必要かを判断している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・主に児童発達支援管理責任者が参加し、必要であれば担当職員も参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・5歳児健診に向けた意見交換や、母子健康における支援について、関係機関が主催する会議に参加している。 ・自立支援協議会に参加している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・保護者と一緒にサポートシートの作成をし、小学校にお子さんを知ってもらうように努めている。	・今後も必要に応じ、就学前の支援内容についても情報提供していきます。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
	32	保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。	○			・ご家族の希望に応じて、地域の行事への参加や、かのみまつりへのご招待などの企画を検討していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・主に保護者付添の活動をしているため、活動中にご家族とコミュニケーションをとりながら、お子さんの様子について共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・勉強会については掲示やSNSにて発信している。ペアレントトレーニングは希望者や必要に応じて開催している。	・今後は、外部の研修やイベントなど広い情報をおつめて状況提供できるようにしていきます。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約の際に、説明をしている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・面談の機会を設け、一緒に支援計画の内容を確認して、同意をもらっている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			・今後も、ご家族の悩みや相談について、職員間で共有しチーム全体で統一した助言や支援ができるよう努めます。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・年に4回の保護者交流会と、年長児家族に対する就学勉強会を開催している。 ・施設のまつりで、きょうだいにも参加してもらう機会があった。	・今後も定期的な交流会や、ご家族の希望に応じて交流する機会を設けていきます。きょうだいにも楽しんでもらえる企画を考えていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・保護者からの相談があった際は、早急な対応に心がけ、面談の機会を設けている。 ・連絡帳での相談でも適切に助言できるよう努めている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・かのか通信やホームページでの活動の様子を発信し、今後の活動などをSNSにて発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取扱いについては、同意書にサインをいただいている。写真の掲載についても保護者の同意をいただいている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・コロナ5類になって以降、少しずつ地域との交流の行事の再開がすすめられていると思う。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを作成しており、定期的に職員で研修や訓練をしている。	・研修や訓練について、ご家族への周知をしていきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・BCPを策定し、災害に備えた総合避難訓練を定期的実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・アセスメントにて持病やアレルギー、服薬の把握をしている、定期的にご家族に確認し服薬変更の把握にも努めている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・調理プログラムの際には、留意している。	・食事提供の機会が少ないので、全員がすぐ共有できる様、アレルギーの有無も含め、アレルギーのある子の情報を整理していきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハットは積極的に取り上げており、多機能事業所内で共有もしている。記録をとり振り返りもして、アクシデントになる前に、様々な対策を検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・普段から意識づけできる研修として、定期的開催されることがありがたい。 ・虐待防止委員会によるチェックリストの実施。	・今後も施設内研修を受けながら、虐待防止や利用者の権利擁護について学び、職員全体で適切な支援に努めます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・今後身体拘束の必要条件に満たすような状況にあった場合は、施設全体でしっかり検討したのち、お子さんやご家族への十分説明と理解を得るように努めます。	